

2020/12/24

(うとQ世話し「ニーズ」考)

弊社提携の編集者さんから

「貴方の書いている物は、一般受けする type の物ではありません。ですから数を求めても無理です。どうせ一般受けしないのなら、書きたい事を書いていく方が良いと思います。そうして「長い時間をかけて fun を作る」それに徹した方がよいでしょう」

との advice を受けました。

「一般受けしない」というのは前から気づいていました。

まず、書いている内容による効果の発現に即効性がない。いずれも最低、発現に1年以上はかかる。長いものになると平気で10年単位の物がゴロゴロ転がっているような有様。

次に、その発現による leverage (レバレッジ=テコの効果) が50倍や100倍とか言う物ではなく、せいぜい1.5倍から2倍程度と少ない。

当然

「すぐに100倍の効果を」

という needs には全く合致しない。

なので「一般受けしない」という事になるのでしょう。

しかし、自分の経験と観察を繰り返した処によれば

「そんなうまい話はこの世にはない」

という結論しか出てきませんでした。

見えてきたのは「毎日の練習の繰り返し以外にヒットを生む手立ては何一つない」

というイチローの格言同様の物。

数式を用いて表せば

(A) 発現までの所要期間12ヶ月 x 成果1 x レバレッジ (テコの効果倍率) 1.5 = 成果18

(B) 発現までの所要時間1ヶ月 x 成果1 x レバレッジ100 = 100

一見(B)インターネットなどのお手軽簡単、直ぐさまお金がっば、ガッポ baseの方が良いように見えます(勧誘広告ですから当たり前です)

しかし「成果」の基礎実力(裏付け充実度)が(B)の場合、もし0.1だとしたら

$100 \times 0.1 = 10$

で、もうこれだけで1ヶ月より遠回りした12ヶ月、レバレッジも100ではない1.5の方が勝っている事になります。

そうして実際には基礎実力は0.1もない。下手をすれば0の場合も、です。

それでは、何故自分は(A)という迂遠な方法を手間暇かけて敢えて取っているのか?

といえば

これはもう

「自分の常態(normal)は何か?」

或いは

「世の中の常態（normal）を自分はどの様に捉えているか？」

に由来しております。

即ち

世の中にあるのは、自分にとっての

「不都合だらけ」「不条理だらけ」「不測の事態だらけ」「失敗の素だらけ」「誤解の素だらけ」
だからです。

一言で言えば

「うまい話やおいしい話に何一つ縁がない（なかった）」

からです。

needs は分っている「おいしい話に直ぐさまあり尽きた」という。

しかし、分ってはいても「そのニーズ」に敢えて従いたくはないのです。騙すことになるからです。